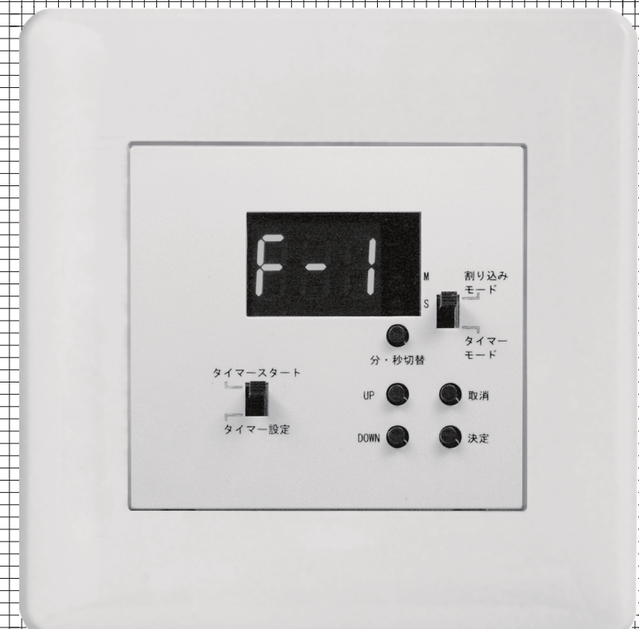
TOKISTAR® LIGHTING SYSTEMS

取扱説明書

LC-10T-M2用シーンセレクタ **LCR-SS1**

このたびはトキスター製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
なお、本取扱説明書は大切に保管してください。



■仕様
定格入力：DC8～24V
2個用スイッチボックス適合

本製品はLED3回路コントローラ（マスター）「LC-10T-M2」専用外部操作機器です。
- 単体でのご使用はできません。
- 他の用途には使用しないでください。
- 本機器は、壁埋込型の屋内専用機器です。取り付けには2個用スイッチボックスが適合します。
- LC-10T-M2の詳細は取扱説明書をご覧ください。

■ ご使用になる前に

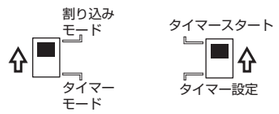
・出荷時には慎重に梱包しておりますが、万が一開封時に既に製品が破損していた場合は、速やかに販売店または弊社までお知らせください。
　なお、ご連絡の際は出荷案内書をお手元にご用意ください。
・配線工事は、必ず工事店又は有資格者に依頼してください。（一般の方の電気工事は法律で禁止されています。）
・配線後は、高圧のかかる絶縁測定器などで絶縁チェックを行わないでください。
・ケースを開いたり、内部に手を触れないでください。
・本機についた汚れは、中性洗剤を軽く含ませた柔らかい布で拭いてください。
・シンナーなどは使用しないでください。
・分解・改造は行わないでください。保証の対象外となります。

こんなときは

■LC-10T-M2の色設定やスピード設定が行えない

LCR-SS1とLC-10T-M2が接続されている状態では、
仕様上の問題からLC-10T-M2の設定操作が行えない場合があります。
以下のようにLCR-SS1を設定するとLC-10T-M2の設定を行えます。

1．LCR-SS1を「割り込みモード」設定する。
　・スイッチを「割り込みモード」「タイマースタート」を選択



2．LCR-SS1のシーン設定で「F-1」を選択する。

以上でLC-10T-M2での設定操作が可能になります。

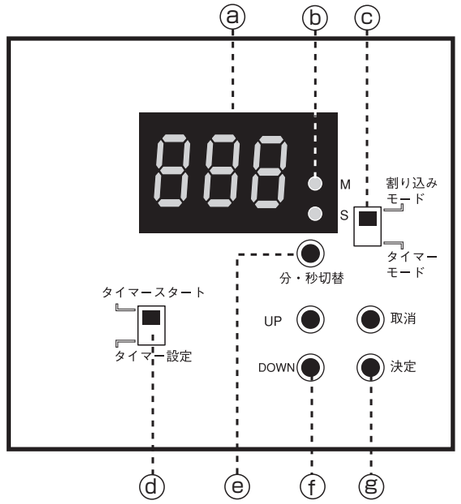
この操作を行っても、LC-10T-M2が操作できない場合は、
LC-10T-M2のシーン選択スイッチが「シーン１」であることを確認してください。
（ シーン選択スイッチ下の赤いランプが不点灯の状態です ）

トキ・コーポレーション株式会社
〒143-0006　東京都大田区平和島4-1-23 JSプログレ2F
Tel.03-5763-6121(代表)　Fax.03-5763-6130　http://www.toki.co.jp/tokistar/

2014.2.6
NO.6/6

概 要

■各部の名称



ⓐ表示部
設定中にシーン番号や設定時間が表示されます。
3回路コントローラのシーン1～7がそれぞれ本機の「F－１」～「F－7」に対応します。

例）シーン7 F-7

ⓑ分・秒表示ランプ
時間設定時に点灯します。M（上側）点灯時は分、S（下側）点灯時は秒の表示となります。
分・秒切り替えボタンで切り替わります。

例）120秒 120.

ⓒモード切り替えスイッチ
タイマーモードと割り込みモードの切り替えを行います。

ⓓタイマースイッチ
タイマー動作の設定および動作開始の切替を行います。

ⓔ分・秒切り替えボタン
時間設定時に使用します。

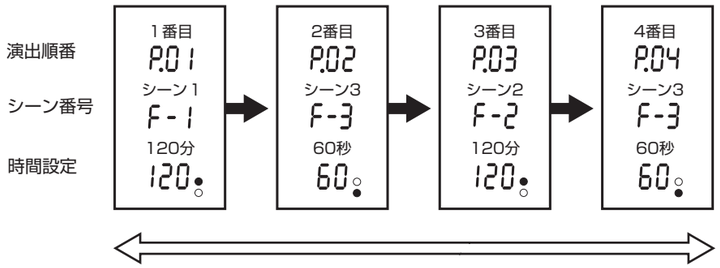
ⓕUP／DOWNボタン
シーン選択や時間の設定に使用します。

ⓖ決定／取消ボタン
タイマー設定時に使用します。

■機能およびシーンについて

・本機は別売の3回路コントローラLC-10T-M2で設定した7つのシーンを切り替える外部操作機器です。
　シーンには、色・点滅パターン・点滅速度が記憶されており、本機器と組み合わせることにより多彩な演出が可能です。
・演出時間は「1～999秒」の間で行う秒単位での設定と、「1～999分」の間で行う分単位での設定の2つから選べます。
・本機は、時計機能を有しておりません。『一日の特定時間に点灯する』といった動作を行う際には、
　内部時計機能を持ったタイマー機器との組み合わせや、手動での動作を行ってください。

設定例）シーン1と2を2時間ずつ交互に演出し、その間にシーン3を1分間演出する。

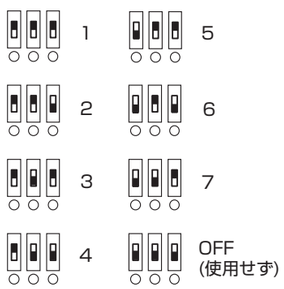


3回路コントローラLC-10T-M2によるシーンの設定方法

1. シーン設定ＳＷを設定したいシーンの番号に設定してください。
　（右図シーン設定ＳＷ対応表参照）
2. メモリSWを押し、メモリＳＷの上にあるLEDが点滅をしていることを確認してください。
3. パターンセレクトＳＷで設定したい点灯パターンを選択してください。
4. メモリSWを押すと、点灯パターンを記憶します。
　固定色(Fixed Color)以外の場合は引き続き点灯速度を設定します。
　パターンセレクトSWで速度を調節し、メモリSWを押してください。
5. 設定が終了しますとメモリSW上のLEDの点滅が停止します。
6. シーン設定ＳＷをシーン１の状態にしてください。

※詳細はLED用3回路コントローラの取扱説明書をご参照ください。

シーン設定ＳＷ対応表



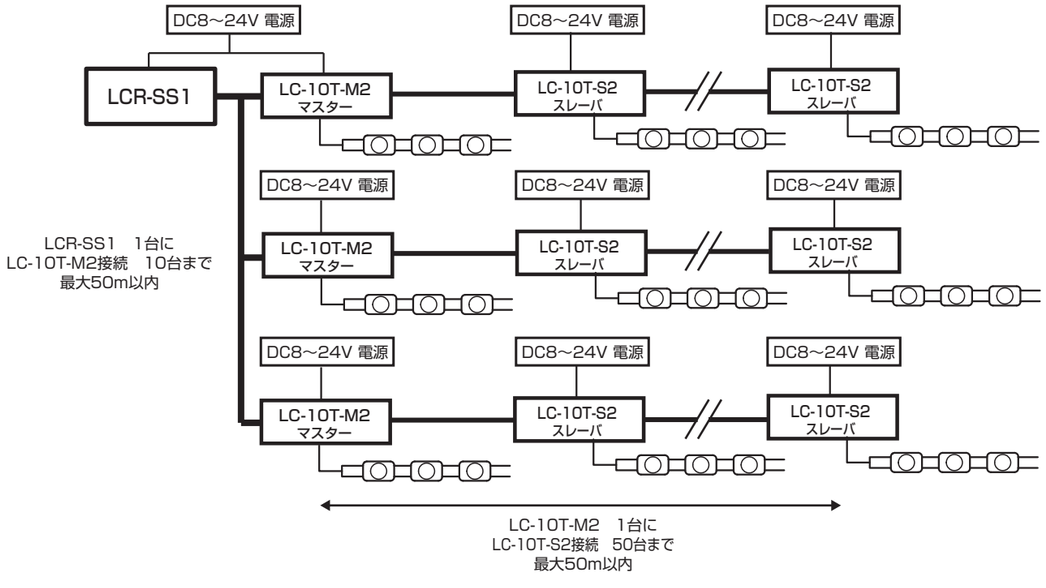
接 続

■配線系統図

LED用直流電源は、入力側、出力側にガラス管ヒューズ(φ6.4, L=30mm)を使用しています。

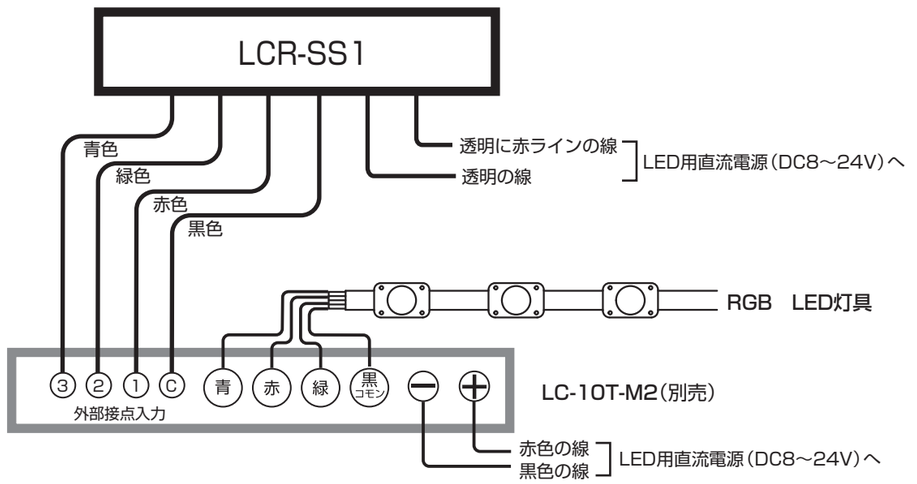
LC-10T-M2、LC-10T-S2との接続

LCR-SS1に接続できるLC-10T-M2は最大10台です。最大長さ50m以内で接続してください。
また、各LC-10T-M2には、LC-10T-S2を最大50m内で50台まで接続できます。
各機器間の配線には1.25mm²以上の電線をご使用ください。



■結線図

黒、赤、緑、青のリード線はそれぞれLC-10T-M2の外部入力端子のC、1、2、3に接続します。



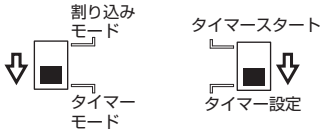
タイマーモード

・LC-10T-M2で設定したシーンを、お好みの時間で切り替えることができます。
・設定は点灯させるシーンとその演出時間で行います。
・本機は時計機能を有しておりません。『一日の特定時間に点灯する』といった動作を行う際には、
内部時計機能を持ったタイマー機器との組み合わせや手動での動作を行ってください。

■タイマーモードの設定

① モード切り替えスイッチを「タイマーモード」に、タイマースイッチを「タイマー設定」に切り替えます。

タイマー設定モードになります。



② 「UP／DOWNボタン」でシーンを選択します。

1番目のシーンであることを示す「P.01」が表示された後、しばらくお待ち頂くと、現在1番目に記憶されているシーンの番号(「F-1」～「F-7」)の表示に切り替わります。
演出したいシーンを設定してください。

③ 「決定」ボタンを押します。

シーンが記憶されます。

④ 「分・秒切替ボタン」を押して演出する時間の範囲を選択し、「UP／DOWNボタン」で時間を決定します。

演出時間は、「1～999秒の間」、「1～999分の間」のどちらかを選んで設定します。

「1～999秒」の間
「分・秒切替」ボタンを押して、「分・秒表示ランプ」のS側(下のランプ)を点灯させます。
表示部の数値は秒数を表します。

「1～999分」の間
「分・秒切替」ボタンを押して、「分・秒表示ランプ」のM側(上のランプ)を点灯させます。
表示部の数値は分数を表します。

⑤ 「決定ボタン」を押し、次のシーンの設定を行います。

演出時間が記憶され、引き続き次のシーン設定に移ります。
以降は②～⑤と同じ手順でシーンの選択および演出時間の選択を行ってください。
最大15番目のシーンまで設定ができます。

⑥ 設定の終了

設定を終了するには、最後のシーンの演出時間を設定した後に、「End」シーンを選択し「決定」ボタンを押します。

⑦ 演出の開始

タイマースイッチを「タイマースタート」に切り替えると演出が開始されます。

演出を終了するには

タイマースイッチを「タイマー設定」に切り替えてください。

再度「タイマースタート」に切り替えると、最初のシーンから演出を開始します。また、「モード切り替えスイッチ」を「割り込みモード」に切り替えると、「割り込みモード」(このページ裏参照)に切り替わりますが、タイマーは動作したままとなっています。再度「モード切り替えスイッチ」を「タイマーモード」に切り替えると演出を再開します。

「OFF」シーンについて

全て消灯するシーンです。

接続されているRGB LED灯具は、全て消灯します。
LC-10T-M2の「F-8」スリープモードに対応しています。

注意
・設定中は、電源を切らないでください。
・演出が開始されない、または演出時間がずれるといったときには、3回路コントローラの状態をご確認ください。
シーン設定SWがONとなっていたり、Remote Delay Setteing機能が設定されている場合があります。

割り込みモード（手動モード）

タイマーの動作中でも、手動でシーンを切り替えることが可能です。
この間もタイマーは動作したままになっていますので、手動での演出終了後も演出時間がずれることなく、
それまでのタイマー動作に復帰させることができます。

■割り込みモードの設定

① タイマースイッチを「タイマースタート」に、モード切り替えスイッチを「割り込みモード」に切り替えます。

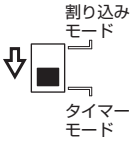
タイマーの動作を停止させている際には「タイマースタート」に切り替えてください。

② 「UP／DOWNボタン」でシーンを選択します。

表示部には現在選択中のシーン番号が表示されます。
UP／DOWNボタンでシーンを選んでください。

③ モード切り替えスイッチを「タイマーモード」に切り替えます。

タイマー動作へ戻る場合には、モード切り替えスイッチを「タイマーモード」に切り替えてください。



注意

・タイマー動作中に「タイマー設定」に切り替えますと、タイマー動作が停止します。
　手動演出終了後、タイマー動作による演出に復帰される場合は「タイマー設定」に切り替えないでください。
・点灯しない場合は 3 回路コントローラの状態もご確認ください。シーン設定ＳＷがＯＮになっていると動作しません。